



testo EasyClimate ソフトウェア

取扱説明書



1 目次

1	目次.....	3
1.1.	説明書について	5
2	仕様.....	5
2.1.	用途	5
2.2.	システム要件	6
3	はじめに	6
3.1.	ソフトウェアドライバのインストール	6
3.2.	ソフトウェアの起動.....	8
4	操作.....	9
4.1.	ホーム画面	9
4.2.	設定メニュー	11
4.2.1.	基本設定.....	11
4.2.1.1.	プログラムタブ	11
4.2.1.2.	単位設定タブ	12
4.2.1.3.	所有者データタブ	12
4.2.1.4.	データバックアップタブ	12
4.2.2.	システム情報.....	14
4.2.3.	著作権.....	15
4.3.	測定器メニュー.....	15
4.3.1.	接続マネージャー.....	15
4.3.2.	基本設定.....	17
4.3.2.1.	測定器タブ	17
4.3.2.2.	機器設定タブ (testo 835 のみ)	18
4.3.2.3.	エネルギー管理機能タブ (testo 480 のみ)	18
4.3.2.4.	表示言語タブ	18
4.3.2.5.	放射率選択タブ (testo 835 のみ)	18
4.3.2.6.	パスワード保護機能 (testo 480 のみ)	19
4.3.2.7.	プローブタブ (testo 480 のみ)	20
4.3.2.8.	専用プリントの設定 (testo 480 のみ)	21
4.3.3.	オンライン測定	22
4.3.3.1.	測定値タブ	23
4.3.3.2.	ディスプレイタブ	23
4.3.3.3.	グラフタブ	24
4.3.3.4.	表示項目設定タブ.....	25
4.4.	アーカイブメニュー.....	25

4.4.1.	エクスプローラ	25
4.4.1.1.	フォルダの追加.....	26
4.4.1.2.	測定場所の追加 (testo 480 のみ)	26
4.4.1.3.	測定ポイントの追加 (testo 480 のみ)	26
4.4.1.4.	測定プログラムの追加 (testo 480 のみ)	27
4.4.1.5.	フォルダ/測定値の転送	27
4.4.1.6.	Excel にエクスポート	27
4.4.1.7.	測定器メモリのエラーメッセージ	28
4.4.1.8.	その他の機能	28
4.4.2.	測定値の表示	29
4.4.2.1.	情報タブ	29
4.4.2.2.	グラフタブ tab	30
4.4.2.3.	測定値タブ	30
4.4.2.4.	報告書テンプレートタブ	30
4.4.2.5.	報告書タブ	31
4.4.2.6.	報告書デザイナータブ	32

1.1. 説明書について

用途

- > ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解ください。特に、人が傷害を負ったり、製品が損傷したりすることを防止するため、安全上のご注意や警告などは必ずお読みください。
- > この説明書は、いつでもすぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。
- > この説明書は、製品とともに後任担当者に必ずお引継ぎください。



このソフトウェアを使用するには、Windows®オペレーティングシステムに関する知識が必要です。

本書で使用している文字や記号の意味

文字・記号	説明
i	重要情報: 製品の取扱上、知っておくと便利な情報
1. ...	操作: 番号に従って決まった順序で行う操作です
2. ...	
> ...	操作: 単独の操作あるいはオプションの操作です
- ...	操作結果を示します
Menu	プログラムインターフェイスの各種要素を表します
[OK]	プログラムインターフェイスのボタンを表します
... ...	メニュー内の機能／パスを示したものです
"..."	入力値の例を引用符で囲んで示します

2 仕様

2.1. 用途

testo EasyClimate ソフトウェア

3はじめに

このソフトウェアは、**testo 480**、**testo 835**をさらに便利に使用するためのもので、測定器本体の設定やデータの分析をすることができます。このソフトウェアは、以下のような便利な機能を多数備えています。

- ソフトウェアを介した測定器の設定
- 顧客および測定データの管理
- データのインポートおよびエクスポート
- インポートしたデータからの報告書の作成、保存、印刷
- 測定値に対するコメント追加

2.2. システム要件



インストールの実行には、管理者権限が必要です。

オペレーティングシステム

このソフトウェアは、以下のオペレーティングシステムで動作します。

- Windows 7
- Windows 8
- Windows® 10

コンピュータ

ご使用になるコンピュータは、対応するオペレーティングシステムの要件を満たす必要があります。さらに、以下の要件も満たすことが必要です。

- USB インターフェイス 1.1 またはそれ以上
-



日付と時刻は、パソコンで設定されている日時と同じ情報が自動的に設定されます。測定データの正確性を期すためにも、管理者は必要に応じて、システムの日時を信頼できる時刻情報と同期、あるいは定期的に調整するようにしてください。

3 はじめに

3.1. ソフトウェアドライバのインストール

1. プログラム CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。または、テストのウェブサイトよりソフトウェアをダウンロードします。必要に応じて適切なソフトウェアで圧縮ファイルを解凍して下さい。
2. **TestoSetup.exe** ファイルを起動します。
3. インストールウィザードに従って操作します。

Vista 環境でインストールする場合は、以下の手順に注意して下さい。

- **【ユーザアカウント制御】** ウィンドウが開いている場合
 - > **【続行】** をクリックします
- **Windows セキュリティ** ウィンドウが開いている場合
 - > **このドライバソフトウェアをインストールします** を選択します。
- 4. **【閉じる】** をクリックして、ソフトウェアのインストールを完了します。
ソフトウェアのインストールが完了したら、測定器をパソコンに接続してドライバのインストールに進みます。
- 5. USB ケーブルで、測定器とパソコンを接続します。
 - 接続が確立されます。

3.2. ソフトウェアの起動

EasyClimate ソフトウェアの起動

i オペレーティングシステムの言語がサポートされている場合、ソフトウェアのユーザーインターフェイスは、その言語で起動します。オペレーティングシステムの言語がサポートされていない場合、ユーザーインターフェイスは英語で表示されます。

> **[スタート] | すべてのプログラム** (Windows XP) または**すべてのプログラム** (Windows Vista, Windows 7) | **Testo | testo EasyClimate ソフトウェア**をクリックします。

i Windows Vista の場合、ソフトウェアを初めて起動するときに **ユーザーアカウント制御** が開きます。

> **同意する** をクリックします。

> CD のケース (testo480) または取扱説明書の最終ページ (testo835) に書かれているライセンスキーを入力してください。

4 操作

- i** お使いの PC が、省エネモードまたはスタンバイモードになっていると、接続の問題や測定データのロスを生じることがあります。これらの機能をチェックして無効にしてください。

ヘルプボタン

- i** ヘルプボタン(?)を押すと、ヘルプバーが開閉します。このボタンはホーム画面以外のすべてのページで表示されます。

4.1. ホーム画面

testo EasyClimate ソフトウェアを起動するとホーム画面が表示されます。



- 1 ステータス情報が表示されるメニューバー（左）
- 2 プレビュー画面によるクイックアクセス

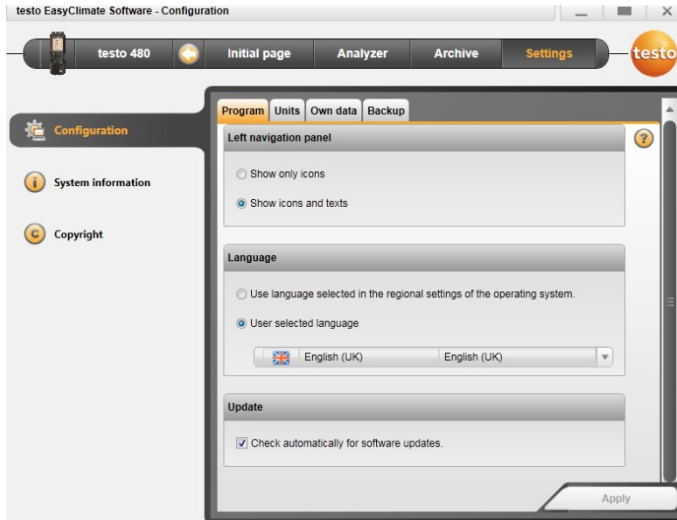


- 3 接続マネージャー
- 4 測定器の基本設定
- 5 オンライン測定
- 6 アーカイブされた測定データの管理
- 7 プログラムの設定
- 8 システム情報
- 9 著作権

4.2. 設定メニュー

設定メニューから**基本設定**、**システム情報**、**著作権**の各メニューを開くことができます。

4.2.1. 基本設定



> ホーム | **プログラムの設定** を選択します。

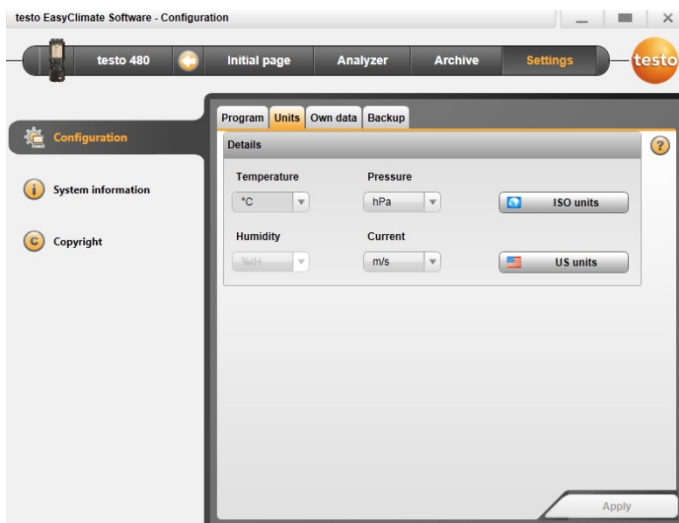
または

> **設定** | **基本設定**

4.2.1.1. プログラムタブ

- > 左側のナビゲーションバー: **アイコンのみ表示** または **アイコンとテキストを表示** を選択します | **[適用]** をクリックします。
- > 言語: **[OSの地域言語に合わせた言語を使用]**、または **ユーザーで選択した言語** を選択します | **[適用]** をクリックします。
- > **プログラム更新**: **ソフトウェアの自動アップデート** にチェックを入れます | **[適用]** をクリックします。

4.2.1.2. 単位設定タブ



- > 個別の測定項目に必要な単位を設定し | **[適用]** を選択します。
- > **[ISO 単位]** | **[US 単位]**: すべての単位を ISO または US にリセット | **[適用]** を選択します。

4.2.1.3. 所有者データタブ

- > **所有者データ**: アドレスデータを入力/変更、ロゴを変更し | **[適用]** を選択します。

4.2.1.4. データバックアップタブ

データのバックアップ

1. バックアップするデータのディレクトリを特定し **[参照]** をクリックします。
2. **[今すぐバックアップを実行]** をクリックします。
 - フルバックアップ [日時] が名称になった ZIP ファイルが作られます。

フォルダ自動バックアップ、リマインダの設定

1. バックアップするデータのディレクトリを特定し **[参照]** をクリックします。

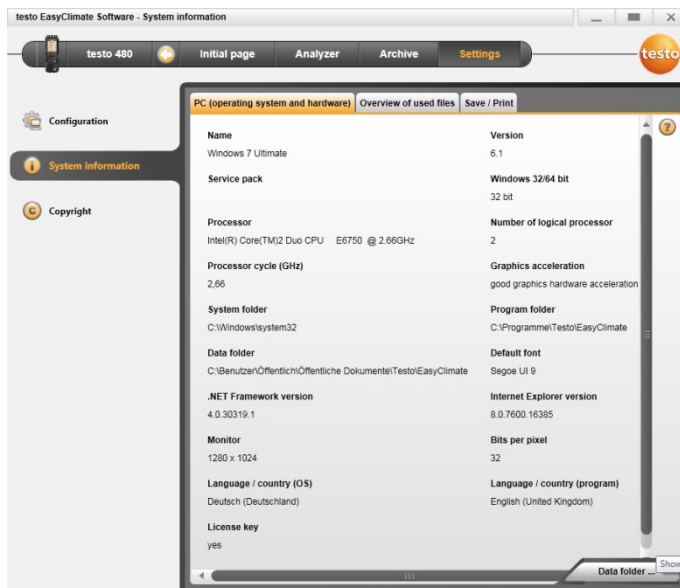
2. リストフィールド: 自動データバックアップの間隔を指定 | **[適用]** を選択します。
- ソフトウェアが起動すると、設定された間隔でデータのバックアップが実行されます。

バックアップデータの保存

- ✓ データがバックアップされていることを確認します。
1. ファイルエクスプローラーで以下のフォルダを開きます。
 - データバックアップのディレクトリを開きます。(**設定** | **機器構成** | **データバックアップ** で開きます。)
 - データディレクトリを開きます。(**設定** | **システム情報** | **パソコン** で開きます。)
 2. ソフトウェアを終了します。
 3. データバックアップのディレクトリから、**フルバックアップ [日時]** が名称になった **ZIP** ファイルを解凍し、各ファイルをデータディレクトリにコピーします。
 4. ソフトウェアを起動します。

4.2.2. システム情報

システム情報メニューには、使用しているパソコンとソフトウェアに関する重要な情報が表示される 3 つのタブがあります。これらの情報はエラーの診断に役立つため、お問い合わせの際には、この画面の情報をお手元にご用意ください。

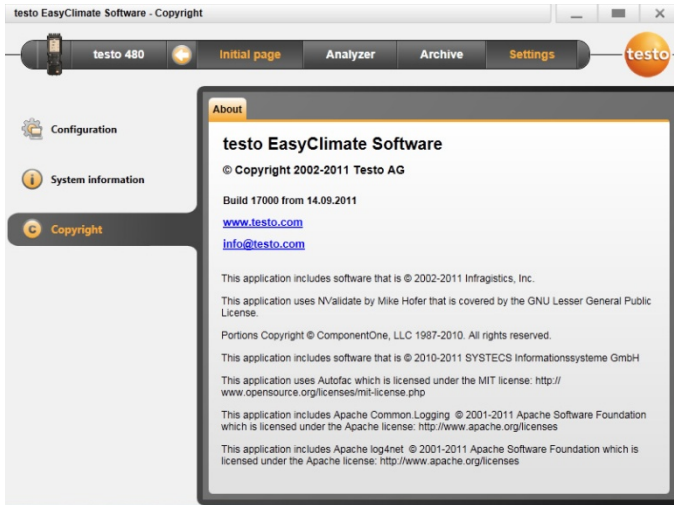


> **設定 | システム情報** を選択します。

実行可能な操作

> **[データディレクトリ...]**: ディレクトリを呼び出します。

4.2.3. 著作権



- > **設定 | 著作権** を選択します。
- **情報** タブが開きます。

4.3. 測定器メニュー

4.3.1. 接続マネージャー

- ✓ 測定器がパソコンに接続されていることを確認します。

i パソコンに接続されている測定器が自動的に認識されます。パソコンに複数の測定器が接続されている場合、目的の測定器を接続マネージャーで接続することができます。

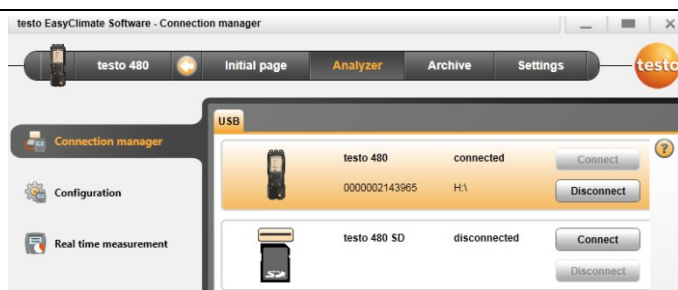
testo 480 のみ: SD カードも測定器と同じように接続できます。ただし、選択できないメニューオプションがいくつかあります（測定器メニューなど）。

- > **ホーム | 接続マネージャー** を選択します。
- または
- > **測定器 | 接続マネージャー** を選択します。
- 測定器の画像とタイプが表示されます。

> 測定器を選択して **[接続]** をクリックします。



同時に 2 台以上の測定器は接続できません



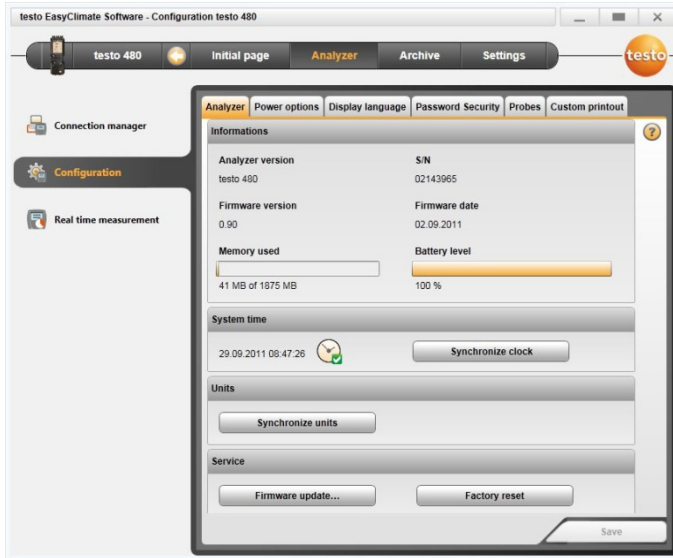
- メニューバーの左のステータスディスプレイに、測定器が表示されます。
- **[接続]** ボタンが **[接続解除]** に変わります。

接続できない場合:

> **コントロールパネル | デバイスマネージャー** を選択します。

4.3.2. 基本設定

- ✓ 測定器が testo EasyClimate ソフトウェアに接続されており、ステータスバーに表示されていることを確認します。



> ホーム | 機器設定 を選択します。

または

> 測定器 | 基本設定 を選択します。

4.3.2.1. 測定器タブ

測定器 タブには、接続されている測定器に関する重要な情報が表示されます。

- > **[今すぐ同期]**：パソコンの日付時刻を測定器に適用します。
- > **[同期単位]**：設定 メニューで設定されている単位を、接続されている測定器またはプローブにマニュアル（手動）で適用します。
- > **[ファームウェアアップデート]**（testo 480 のみ）：テストウェブサイトよりダウンロードされたファームウェアアップデートのファイルを測定器にインポートします。
- > **[工場出荷値に戻す]**：測定器を工場出荷状態に戻します。

4.3.2.2. 機器設定タブ (testo 835 のみ)

- > アラーム音の設定・解除: **アラーム音** の設定/解除のチェックボックスにチェックを入れ | **[保存]** をクリックします。
- > アラームを設定する項目の設定/解除: **赤外放射**、**熱電対**、**表面湿度** または **露点温度差** のチェックボックスにチェックをして限界値を入力し | **[保存]** を選択します。
- > レーザーの設定/解除: **レーザー** のチェックボックスにチェックを入れ | **[保存]** を選択します。
- > ディスプレイの明るさの設定: スライダーを動かし | **[保存]** を選択します。

4.3.2.3. エネルギー管理機能タブ (testo 480 のみ)

- > 測定器の電源を自動的に切るには: 必要な時間を入力し | **[保存]** を選択します。
- > バッテリーモード時にディスプレイ照明をオフにするには: 必要な時間を入力し | **[保存]** を選択します。
- > ディスプレイの明るさを設定: スライダーを動かし | **[保存]** を選択します。

4.3.2.4. 表示言語タブ

測定器で利用できるテキスト表示言語が表示されます。

- > **言語を選択** | **[保存]** を選択します

4.3.2.5. 放射率選択タブ (testo 835 のみ)



放射率表があらかじめ登録されています。放射率をご使用になる言語により異なります。ご使用の言語の中で放射率を変更してください。

放射率選択タブを開くと、測定器より放射率表が自動的に読み込まれます。

- > 放射率の変更: セルを **3** 回クリックして | 変更し | **[デバイスへの書き込み]** を選択します。
- > マテリアルに追加: 放射率表の最終行にユーザー定義のマテリアルと放射率を入力し | **[デバイスへの書き込み]** を選択します。

- > 測定器から放射率表の再読み出し: **[デバイスからの読み込み]** を選択します。
- > XML ファイルとして放射率表をパソコンに保存: **[そのまま保存]** を選択します。
- > パソコンに保存された放射率を測定器に追加: **[ファイルからの読み込み]** を選択します。

4.3.2.6. パスワード保護機能 (testo 480 のみ)

パスワード保護機能を有効にすると、パスワードを入力したときにのみ、測定器で以下の機能を使用できます:

- ・ 工場出荷状態に戻す
- ・ プローブリセット
- ・ ファームウェアアップデート
- ・ パスワードを変更する/解除する
- ・ センサー名
- ・ 湿度センサー調整

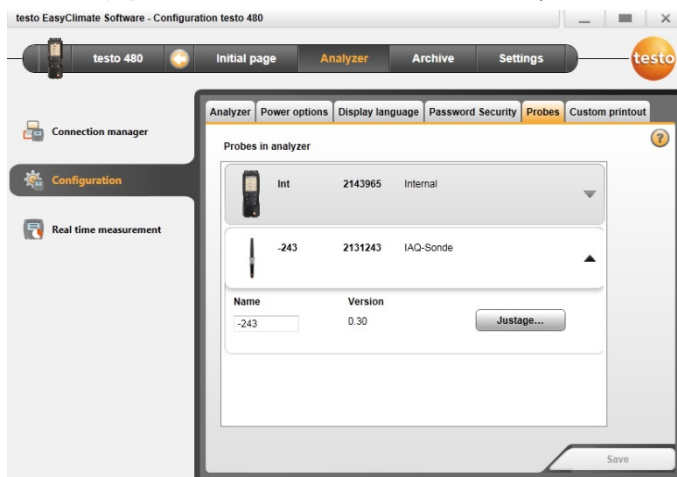


パスワードを忘れた場合は、testo 社でリセットする必要があります。

-
- > パスワード入力 | パスワード再入力 | **[保存]** | を選択します。

4.3.2.7. プローブタブ (testo 480 のみ)

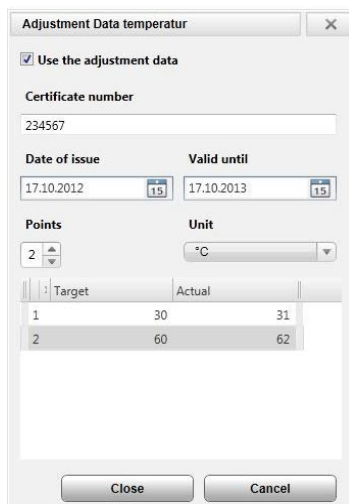
測定器に接続されているセンサタイプが表示されます。



i 接続されているプローブのプローブ名称は変更できます。また校正プロトコルの校正データはプローブに保存できます。

【▼】 でセンサタイプを選択します。

- > **【調整】** を押します。
 - 選択ウィンドウが開きます。
- > 調整する単位を選択し **【次へ】** を選択します。
- > **【調整データを使う】** を起動させ、**認証番号 | 発行日 | 有効期限 | ポイント | 単位 | 目標値 | 実測値** を入力し、**【閉じる】 | 【保存】** を押します。
 - 調整されたデータが機器に保存されました。



The dialog box titled "Adjustment Data temperatur" contains the following fields and controls:

- ☒ Use the adjustment data
- Certificate number: 234567
- Date of issue: 17.10.2012 (calendar icon)
- Valid until: 17.10.2013 (calendar icon)
- Points: 2 (spin box)
- Unit: °C (dropdown menu)
- Table with 3 columns: Index, Target, Actual

	Target	Actual
1	30	31
2	60	62

Buttons: Close, Cancel

i 一度校正データが入力されると、そのデータはプローブに永続的に保存されます。プローブは測定中、自動的に偏差を考慮し、その結果、エラーのないディスプレイが得られます。

4.3.2.8. 専用プリントの設定 (testo 480 のみ)

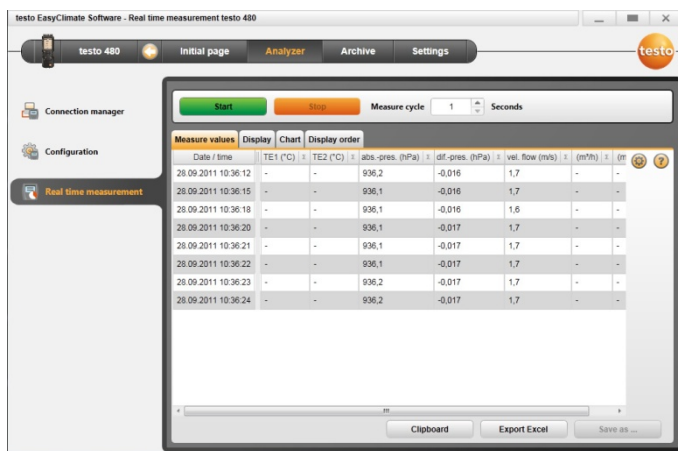
プリンタテキスト タブでは、testo 480 測定器の報告書をプリントアウトするためのヘッダー、フッター、およびロゴを設定できます。

- > テキスト入力フィールドにプリンタテキストを入力 | **[保存]** を選択します。
- > 必要なロゴを選択 | **[保存]** を選択します。

4.3.3. オンライン測定

i 静電気の帯電により、測定器とパソコンの間の通信状況が損なわれる可能性があります。特にオンライン測定を実行（測定器とパソコンを接続）する場合または電源装置を使用する場合は、測定を開始する前に、すべての周辺機器の間で電位差が発生しないように対策（アースの確保など）を講じてください。その際は、システムの安全上の注意点を守ってください。

オンライン測定 メニューを使用して測定を実行できます。この場合、測定器はパソコンにより制御されます。測定値は直接パソコンに送信されて、ディスプレイに表示されます。



> **ホーム** | **オンライン測定** を選択します。

または

> **測定器**メニューから| **オンライン測定** を選択します。

オンライン測定の実行

i **表示項目設定** タブで有効になっているパラメータと測定単位のみが表示されます。

1. **測定間隔** と放射率（testo 835 のみ）を設定します。
2. **ディスプレイシーケンス**を設定します。
3. オンライン測定の開始: **[スタート]**を押します。
 - 測定値が表示されます。
4. オンライン測定の終了: **[停止]**を押します。

- オンライン測定が停止します。

オンライン測定から測定値の保存

1. **測定値** を表示させます。
2. **[クリップボード]** から選択し、**[Excel にエクスポート]**、**[名前を付けて保存]**します。



- **クリップボード**:さまざまなファイルに挿入するため、測定データはクリップボードに保存されます。
 - **Excel にエクスポート**:測定データは、.xls もしくは .xlsx ファイルにエクスポートされます。
 - **名前を付けて保存**:測定データは、ソフトウェアのアーカイブに保存されます。保存は、標準測定プログラムでのみ可能です。
-

4.3.3.1. 測定値タブ

- > **測定値**: 単一測定すべての測定チャンネルと日付/時刻を表形式で表示します。

実行可能な操作

- > **[指定先へ保存 ...]**: 測定値を保存します。
- > **[Excel にエクスポート]**: 測定値を Microsoft Excel (Microsoft Excel 2000 または以降) にエクスポートします。
- > **[クリップボード]**: 測定値をクリップボード (ピリオド区切りのテキストファイル) にエクスポートします。

4.3.3.2. ディスプレイタブ

- **ディスプレイ**: すべての測定チャンネルとともにフィールドを表示します。現在の測定値が表示されます。

実行可能な操作

- > 表示バーの開閉:  を押します。
 - > 測定中に、実機での表示の代わりに、最小値、最大値、平均値が表示されます。
 - > 表示フィールドのサイズの変更 (ズーム) : スライダーを動かします。

4.3.3.3. グラフタブ

- **グラフ**: 選択可能な 16 の測定チャンネルと時間軸の自動スケーリングを行えるグラフが表示されます。

実行可能な操作

- > 表示バーの開閉: **[📊]**を押します。
 - > グラフのプロパティ（表示されるチャンネル、線の色、スケール、限界値）を設定します。
- > **[ビットマップで保存]**: グラフを画像ファイルとして保存します。

4.3.3.4. 表示項目設定タブ

使用できる測定チャンネルが **使用可能なチャンネル** エリアに表示されます。測定器の現在の表示項目設定で選択できるパラメータと測定単位のみが表示されます。

オンライン測定中にパソコンに表示される測定チャンネルが **選択中のチャンネル** エリアに表示されます。

表示項目を設定します。

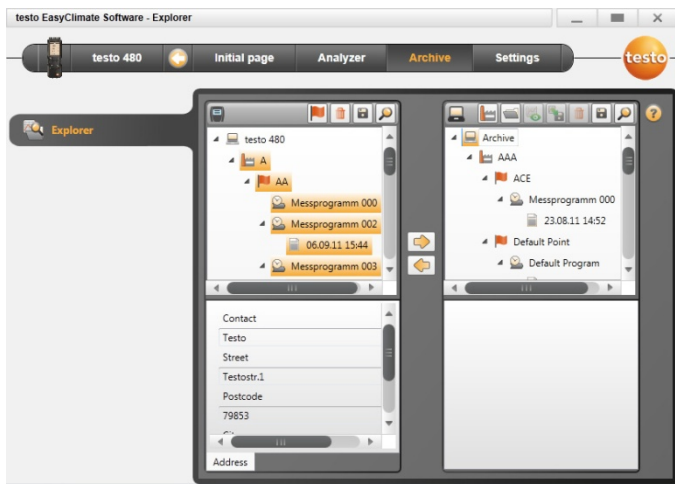
- > 測定チャンネルの追加/削除: **[追加>]**、**[すべて追加>]**、**[<削除]**、**[<すべて削除]** を選択します。
- > 測定チャンネルの順序を設定: 測定チャンネルを選択 | **[Up]** または **[Down]** を選択します。

4.4. アーカイブメニュー

- ✓ 測定器が testo EasyClimate Software に接続されており、そのステータス情報がメニューバー（左）に表示されていることを確認します。

このメニューは、測定値をフォルダ構造にアーカイブするために使用します。測定器が接続されており、測定器に測定値が保存されている場合には、これらの測定値をアーカイブにコピーして、測定器内のフォルダ構造を変更することができます。

4.4.1. エクスプローラ



- > **ホームメニュー | アーカイブされた測定データの管理**
または

アーカイブメニュー | **エクスプローラ**を選択します。

- 測定器メモリに保存されたデータが  の下（左ウィンドウ）に、パソコンに保存されたデータが  の下（右ウィンドウ）に表示されます。



以下に記載された機能は、接続された測定器により、状況に応じて測定器のメモリ上またはパソコンのメモリ上で実行されます。

4.4.1.1. フォルダの追加

- > フォルダの追加:  を押します。
- 新規フォルダ が作成されます。



もう一度  を押すと、別のフォルダが作成されます。

フォルダ名のテキストフィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。(要素 (element) を選択し、マウスの右ボタン | **名前の変更**ができます。

測定後、インフォメーションフィールドも、名前を変更したり、完了することができます。)この手順は、すべてのタイプの要素 (element) に適用されます。

4.4.1.2. 測定場所の追加 (testo 480 のみ)

1. 測定場所の追加:  を押します。
 - 新規測定場所 が作成されます。
2. 測定場所が選択されている場合は、**アドレス** タブに測定場所に関する情報を入力できます。

4.4.1.3. 測定ポイントの追加 (testo 480 のみ)

1. 測定ポイントの追加:  を押します。
 - 新規測定ポイント が作成されます。
2. 測定ポイントが選択されている場合は、**測定ポイント** および **ダクト形状タブ** に測定ポイントに関する情報を入力できます。

4.4.1.4. 測定プログラムの追加 (testo 480 のみ)

- 5 種類の測定プログラムから選択できます。

標準測定プログラム 

HVAC 測定プログラム 

WBGT 測定プログラム 

PMV/PPD 測定プログラム 

NET 測定プログラム 

1. 測定プログラムの追加:  を押します。
- 新しい測定プログラムが作成されます。
2. 測定プログラムが選択されている場合は、ボトムの設定タブに測定プログラムに関する情報や設定を入力できます。

4.4.1.5. フォルダ/測定値の転送

i フォルダ構成は維持されなければなりません。測定ポイントは、測定場所の下に挿入されなければなりません。

1. フォルダまたは測定値の選択: 対象のアイコンにカーソルを移動し、クリックして選択します。(オレンジ色にハイライト表示されます)
2. 対象のフォルダにカーソルを移動し、クリックして選択します。(オレンジ色にハイライト表示されます)。
3. 選択したフォルダまたは測定値を測定器からアーカイブにコピー:  を押します。
または
選択したフォルダまたは測定値 (testo 480 のみ) をアーカイブから測定器にコピー:  を押します。
4. 測定データの保存またはアーカイブ:  を押します。

4.4.1.6. Excel にエクスポート

i ユーザー定義のエクセルテンプレートを作成し、同じディレクトリに保存できます。

一つまたは複数の測定プロトコルを直接エクセルにエクスポートできます。エクセルテンプレートも、複数の異なるプロトコルタイプで作成しておきます。

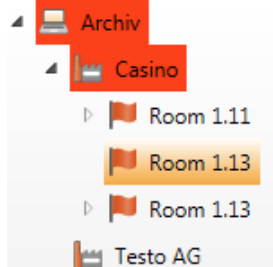
1. 選択した測定データをエクセルにエクスポート をクリックします。
 - ウィンドウが開いて使用できるテンプレートが選べます。
2. 必要なテンプレートを開きます。
 - エクセルが開き、選択した測定データが、選択したテンプレートに表示されます。
3. エクセルファイルを名前を付けて保存します(ファイル|名前を付けて保存)。

4.4.1.7. 測定器メモリのエラーメッセージ

エクスプローラでエラーなしで作業するためには、フォルダ構成の各レベル内での名前を1つしか存在させないことです。例えば、異なる2つの測定プログラムは、同じ名前ではいけません。

しかし、ある名前が異なる構成レベルで、複数回発生することは起こり得ます。それ故、測定ポイントは、関連する測定場所と同じ名前を付けることもできます。

名前の重複が起きた場合は、高いレベルのノードを赤でマーキングすることもできます。

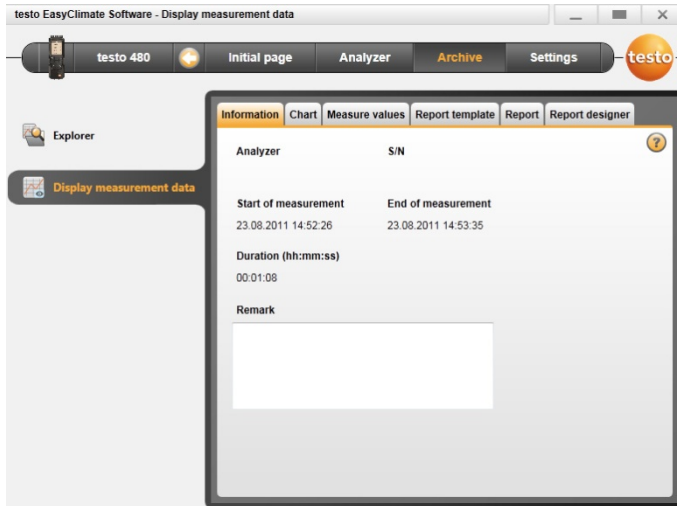


しかし、この測定値をPCのメモリに転送することはできません。その場合は右クリックして、**名前の変更**を行います。全ての重複した名前が解消されると、ノードは赤のマーキングが外れて、測定データは通常通りPCのメモリに送信されます。

4.4.1.8. その他の機能

- element(要素)の削除:  を押します。
- 測定値(*.arg ファイル)のインポート:  を押します。
- データの検索:  を押します。
- 選択した測定値の表示:  を押します。
- 選択した測定値(*.arg ファイル)のエクスポート:  を押します。

4.4.2. 測定値の表示



i パソコンのメモリに保存された測定値のみ表示できます。そのため、測定器に保存されたデータを表示するには、先にパソコンにコピーしておく必要があります。

1. メニュー **ホーム** | **測定データアーカイブの管理**
または
メニュー **アーカイブ** | **エクスプローラ** を選択します。
2.  (右ウィンドウ) の下、 をダブルクリックします
- **[測定値を表示]** モジュールが開きます。

4.4.2.1. 情報タブ

情報 タブでは測定のメタデータ（関連情報）が表示されます。ここに、コメントを入力できます。

4.4.2.2. グラフタブ tab

グラフ タブでは測定値がグラフ形式で表示されます。

実行可能な操作

- > 表示バーの開閉: **[☺]** キーを押します。
 - > グラフのプロパティ（表示されるチャネル、線の色、スケール、限界値）を設定します。
- > **[ビットマップで保存]**: グラフを画像ファイルとして保存します。

4.4.2.3. 測定値タブ

測定値 タブでは、個別の測定値が表形式で表示されます。

実行可能な操作

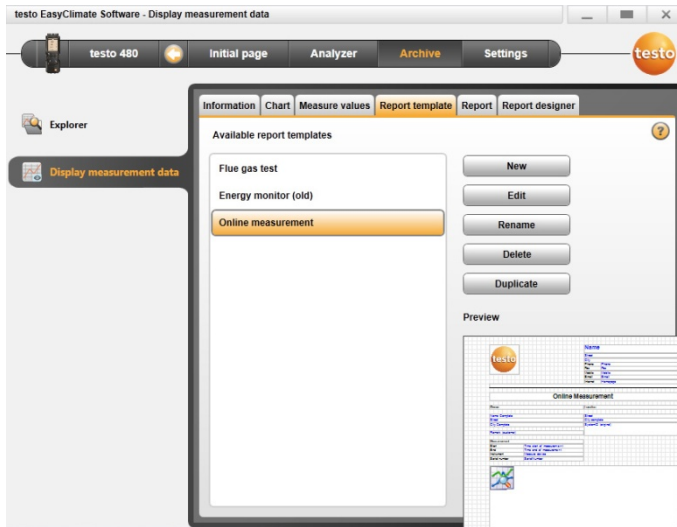
- > **[Excel にエクスポート]**: 測定値を Microsoft Excel（Microsoft Excel 2000 またはそれ以上）にエクスポートします。
- > **[クリップボード]**: 測定値をクリップボードに（ピリオド区切りのテキストファイルで）エクスポートします。
- > コメントの追加:
 1. コメントを追加する測定値をクリックします。
 - **測定値のコメント** ウィンドウが開きます。
 2. コメントを入力します。
 3. **[OK]** をクリックします。
 4. **[コメントを保存]** をクリックします。
 - コメントは、緑色の三角形（グラフ上では緑色の円）で表示されます。その上にマウスを移動すると、コメントが表示されます。
- > コメントの変更: コメントをクリックすると編集ができます。
- 5. 最低／最高／平均値をヘッダーに表示することができます。**[Σ]** |ディスプレイを選択します。

4.4.2.4. 報告書テンプレートタブ



現存するレポートテンプレートは、編集も削除もできません。必要なレポートテンプレートのコピーを作成し、編集や実行可能な操作に使えるようにします。

報告書テンプレート タブには、各種報告書のテンプレートが用意されています。これらのテンプレートで名前の変更、削除、編集、または新規作成できます。



実行可能な操作

- > **[新規]**: 新規報告書を作成します。
- > **[変更]**: 「報告書デザイナー」で選択したテンプレートの編集をします。
- > **[名前の変更]**: テンプレートの名前を変更します。
- > **[削除]**: 作成したテンプレートを削除します。
- > **[コピー]**: 報告書テンプレートをコピーします。



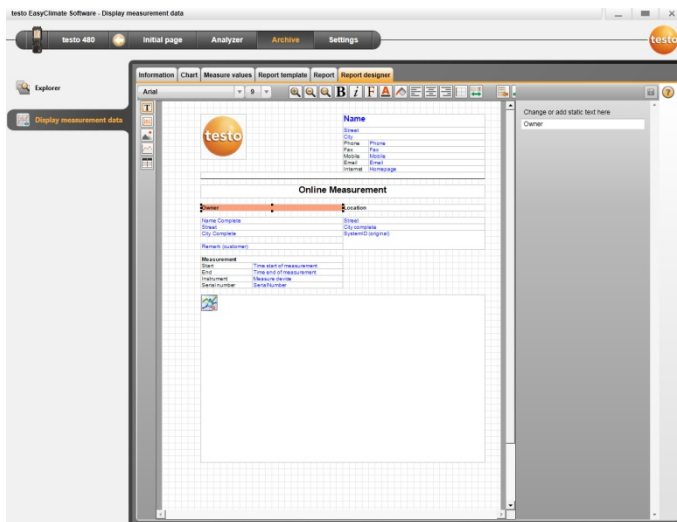
3.3 バージョンから、レポートテンプレートの変更が表示されています。追加されたバージョンナンバーが記号表示に示された、追加のフォーマットが表示されます。

4.4.2.5. 報告書タブ

[報告書] タブでは、選択した報告書テンプレートで、測定の報告書が表示されます。報告書は保存して、PDF 形式で印刷できます。

4.4.2.6. 報告書デザイナータブ

[報告書] タブでは、選択した報告書テンプレートで、測定の報告書が表示されます。報告書は PDF 形式で保存して、印刷できます。



表示されるプロパティは、**報告書テンプレート** タブで指定したテンプレートを適用しています。

-  **テキスト**: 報告書フィールドに、入力した通りのテキストが挿入されます。
-  **データ**: データベース内に保存された値（測定値、顧客データ、またはシステムデータ）が、選択した報告書フィールドに呼応したフィールドに挿入されます。
データベースからフィールドを選択: **[...]** を押します。
-  **図**: 選択した図が報告書フィールドに挿入されます。
図の選択: **[ファイル参照]** | ファイルを選択 | **[開く]** を選択します。
-  **PMV/PPD**: PMV/PPD 測定グラフが挿入されます。
-  **グラフ** (測定データ) : データベースに保存されている、測定プロトコルに対応した測定値が、グラフ形式で報告書フィールドに挿入されます。
パラメータを入力します。

-  **表（測定値）**：データベースに保存されている、測定プロトコルに対応した測定値が、表形式で報告書フィールドに挿入されます。
- 表が選択されている時のみ、最低／最高／平均値を選択できます。



この機能は、フィールドタイプで、**[テキスト]** フィールドまたは**[データ]** フィールドを選択している場合にのみ使用できます。

-  **デフォルトのフォント**：すべてのテキストフィールドおよびデータフィールドに初期設定されたフォントが使用されます。
-  **フォントの指定**：デフォルトで設定されていないフォントを使用します。
フォントの選択：**[フォント参照]** | フォントを選択 | **[OK]** を選択します。
-  **配置**：テキストフィールド内の配置を選択します。
-  **色**：フォントの色を選択します。
-  **背景色**：背景色を変更します。
-  **罫線**：報告書フィールドの罫線プロパティを選択します。
- ページプロパティを入力または設定します。
-  **プレビュー**：データフィールドから内容に表示を切り替えます。
-  **スクロール**：報告書テンプレート内で、前後にスクロールします。



株式会社テストー

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター（修理・校正） TEL.045-476-2266 FAX.045-476-2277
- ヘルプデスク TEL.045-476-2547

ホームページ <http://www.testo.com>

e-mail info@testo.co.jp

testo EasyClimate ソフトウェア取扱説明書 0970 0480 jp 06 (06.2018)

0970 0480 en 02 V01.02-0 en-GB